

進路だより 第7号

🌸 進路についてよくある質問

Q 公立高校の合格発表の後で、公立と私立のどちらに行くか選べますか？

公立高校に合格したら公立高校に入学することが原則です。公立高校の合格発表は以下の3種類です。

(1) 第1志望校に合格 (2) 第2志望校に合格 (3) 不合格

公立高校は第2志望校であっても、合格したら入学することが前提ですので、合格した私立高校よりも志望順位の低い公立高校は受検しないのが原則です。私立高校等を含めた志望順位を明確にした上で、公立高校の受検校を検討してください。

(例) 第1志望 高蔵寺高校 第2志望 春日丘高校 第3希望 春日井東高校

上記の希望状況で、春日丘高校に合格した場合、公立高校は高蔵寺高校を1校のみ受検する。

Q 公立高校が不合格なら、第2次選抜を受検できますか？

第2次選抜に出願できるのは「愛知県内の国公立のいずれかの高等学校を受検し、いずれの高等学校にも合格しなかった者」です。ですので、県内の私立高校に合格した生徒は受検できません。専修学校や岐阜県の私立高校にのみ合格した生徒は受検できますが、各校の入学手続き期限が、第2次選抜の合格発表より前に設定されている学校がほとんどのため、第2次選抜を受検するか、岐阜県私立高校・専修学校等へ進学するか、どちらかを決断する必要があります。

自分の学力や希望に合う学校が、第2次選抜を実施するかはわかりません。第2次選抜があることを前提とした受検校選択は避けるようにしてください。

Q 公立高校で、どこの学校なら推薦がもらえますか？

公立高校の推薦選抜に出願できる条件は、以下の通りです。

(1) その学校・学科を志望する意志が強く、動機・理由が明白・適切であること。

(2) 人物・学習成績が優れていること。(その学校の教育課程を履修する学力を有すること)

このように「第1志望としてこの学校に入学したい」という強い意志と明確な志望動機が必要です。ですので、「どこの学校なら推薦がもらえますか？」という質問は、推薦選抜の趣旨に沿っていません。出願条件が第1志望であることですので、「推薦がもらえなかったら違う高校を受検する」という考え方は避けてください。また、推薦選抜が不合格の場合でも、その学校を第1志望として一般選抜を受検することが原則となります。

志望校の教育課程を履修する学力を有するかどうかを知りたい場合は、担任の先生に、推薦受検希望の高校名を伝えて、尋ねてください。過去の受検生の合格実績からアドバイスをします。

🌸 進路に関するお問い合わせについて

進路に関するお問い合わせは、すべて中学校(担任)へお願いします。体験入学・学校説明会等の当日の欠席連絡以外の用件で、ご家庭から直接、高校や専修学校にお問い合わせることはご遠慮ください。

奨学金のご案内

◇ あしなが高校奨学金

〈対象〉

保護者（父または母など）が、病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡、または保護者が1～5級の障がい（注1）認定を受けていて、経済的な援助を必要としている家庭の子ども。

（注1）次の障がい認定を受けている場合をいいます。

身体障害者福祉法、国民年金法、厚生年金保険法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、労働者災害補償保険法に定める第1級から第5級

〈申請締切〉

2022年12月15日（消印有効） ※ 希望者は、10月末までに中学校へお申し出ください。

〈奨学金の内容〉

1. 支給金額 : 月額30,000円（給付型）
2. 支給期間 : 2023年4月分～卒業（最短修業年限）まで

◇ 似鳥国際奨学財団奨学金

〈目的〉 人のため・世のために役に立ちたいと夢に向かってチャレンジし、学業に励む人を応援する。

「学力優秀」と「志操堅実」の両方を兼ね備えながらも、経済的に困窮している方を支援する。

〈対象〉 日本国籍を有するひとり親家庭（父子家庭・母子家庭など）

〈申請締切〉 2022年11月20日 似鳥国際奨学財団ホームページより、エントリーフォームを入力

〈奨学金の内容〉

1. 支給金額 : 月額30,000円（給付型）
2. 支給期間 : 2023年4月～2024年3月
3. 採用人数 : 最大150名

〈奨学生の義務〉

下記の(ア)～(ウ)全ての項目の条件を満たした人に奨学金を支給

(ア) 日本国内に居住している

(イ) 毎月期限内にレポートの提出（期限：毎月20日前後）

※レポートは事務局配信のテーマに沿ったものをA4用紙1～2ページ程度

(ウ) 交流会の参加(年1回予定)